

# とらのもん

- 女性内科(漢方内科)のご紹介
  - 骨と血管のアンチエイジング医療
  - 連携医療機関のご紹介
- ～にしあらい耳鼻咽喉科～



〈オステオスペルマム〉

基本理念：医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、  
その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

## 公開講座のお知らせ

【本院】

『最新の乳がん治療』

乳腺・内分泌外科部長 三浦 大周

日時: 4月14日(土) 14:00～15:30  
場所: 本院 本館3階講堂(入場料無料)

【本院】

『もっと詳しく知りたい！  
腰痛、腰部脊柱管狭窄症』

整形外科医長 村上 元昭

日時: 5月19日(土) 14:00～15:30  
場所: 本院 本館3階講堂(入場料無料)

※ 諸般の事情により、変更・延期・中止になる場合がございます。  
お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認下さい。



# 女性内科(漢方内科)のご紹介

分院内科総合診療科(女性内科(漢方内科))医員 若林 真理子

## はじめに

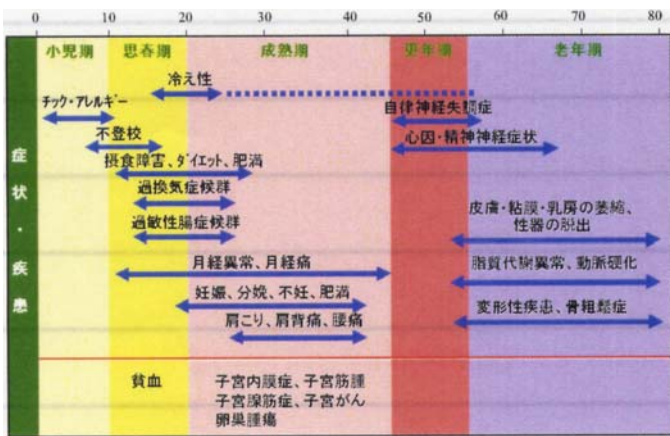
今年の1月より分院で女性内科が開設されました。

女性内科とはどんなところなのだろうと疑問に思われる方もいらっしゃるでしょう。今回この紙面にて概要をおわかりいただければと思います。

女性の身体や心の状態は年齢や月経の周期に影響を受けます。思春期・月経周期に関連する様々な症状や更年期に生じる症状は男性とは異なります。女性内科とは性差に基づく女性医療を行う専門外来です。明らかな自覚症状がなくても、生活の質が阻害されていると感じれば受診できます。どういう症状がいつからはじまり、どういう点でお困りかなどをお聞きし、できる限り解決できるようにお力になりたいと思います。女性医師が担当し、女性特有の疾患・病態に考慮し、相談内容は科を限定せず、初診には30分程度の時間をかけ、専門性が要求される場合は該当科に紹介いたします。

米国で推進された最初のきっかけは女性医療の見直しでありました。1960年代のサリドマイド事件などの悲劇を重視し、妊娠の可能性のある女性を薬の治験に加えることは好ましくないと、その後、女性は臨床研究から除外される状況がしばらく続き、女性生殖器と乳腺の悪性腫瘍以外の臨床試験は全て男性をモデルに計画・治験され、その結果が何の疑いもなく女性にあてはめられてきました。しかし、全ての年齢の女性において女性に特有な病態についての研究が行われるべきであるとの判断から、1990年に女性の疾病の予防・診断・治療の向上と関連する基礎研究を支援する女性健康局が開設されました。性差医療の幕が米国でこの時から開かれました。現在米国の死亡原因の第1位は男女ともに心血管疾患です。男性の死亡者数は減少していますが、女性の死亡者数は男性より多く、毎年増加しています。米国の循環器学会ではブッシュ元大統領夫人も参加し、女性の心疾患を減らすキャンペーンを実施しています。

日本では1999年の日本心臓病学会で、天野恵子先生が性差医療の概念を日本に紹介されました。性差医療の実践の場として2001年に鹿児島大学に女性外来ができ、その後各地に広がっていきました。天野先生は大学卒業時、大学紛争中で虎の門病院に1年間いらしていたそうです。その後米国とカナダで研修され、現在も現役の循環器医師として性差医療を根付かせるためにご活躍されています。今年の循環器病学会のシンポジウムでは性差をテーマに座長をされます。今回女性内科を担当いたします私も以前虎の門病院に在籍し、熊田博光先生のもとで肝臓疾患に携わっていた事があり、昨年まで天野先生にご指導を受けておりました。日本に女性外来が誕生して10年目の節目に私共に縁があります虎の門病院で女性内科を開設していただき、大変感謝をしております。

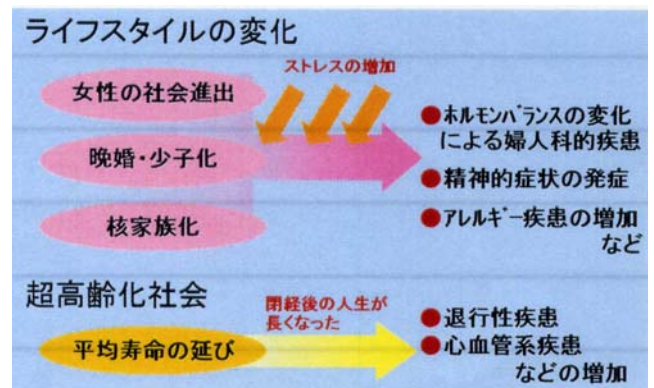


石野尚吾 「漢方」週刊朝日2003.4.10増刊号.p.16-20.より  
(ライフサイクルと発症しやすい症状・疾患)

## 性差医療とは

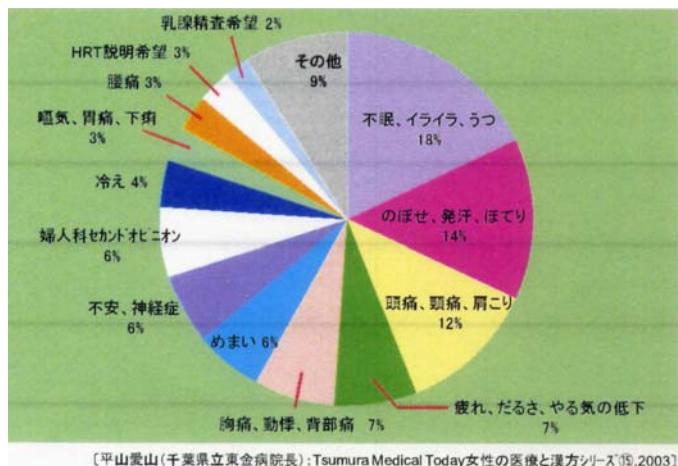
性差医療とは男女比が圧倒的にどちらかに傾いている病態（痛風は男性に多く、膠原病は女性に多い）で発症率はほぼ同じでも男女間で臨床的に差を認めるもの（心筋梗塞の死亡数はほとんど男女差がありません。男性は若くても心筋梗塞で亡くなることがありますが、閉経前の女性は心筋梗塞にかかることはめったにありません。）などに関する研究をすすめる、その結果・疾病の診断・治療法・予防措置へ反映される事を目的とした医療です。

1990年代から今日まで、性差に関する研究が





## 女性外来受診時に多い症状



〈女性専用外来受診時の症状別頻度〉

### ● 頭痛

片頭痛は若年層に多く、男女比は1対4と圧倒的に女性に多い頭痛です。また月経前・月経時など月経に関与して生じる事も多いです。西洋医学的検査で異常がなく、鎮痛剤を服用してもあまり改善が認められない場合、東洋医学的加療と生活習慣の改善により軽快する例も多くあります。

### ● 胸痛

女性ホルモンのバランスが不安定になる年代の方で胸痛が生じ、負荷心電図・心エコー・ホルター心電図・冠動脈造影まで施行し異常がなく、気のせいと言われ、困っている方はいらっしゃらないでしょうか。女性ホルモンには血管を拡張する作用があり、いわゆる更年期にはこの作用が落ち、冠動脈造影では観察できない程度の微小血管に病変を認める微小血管狭心症の可能性があります。誘発因子として、過労・ストレス・睡眠不足などがあり、改善法としてストレス除去が必要ですが、カルシウム拮抗剤・女性ホルモン剤が有効です。

### ● 更年期症状・生活習慣病

更年期とは女性の体が妊娠可能な状態から、望んでも妊娠する事がない状態へと変化していく移行期で、わが国の女性ではおおむね45歳から55歳がその時期に相当します。月経異常、血管運動神経症状（のぼせ・ほてり・発汗・四肢の冷感・動悸・不安定な血圧）、精神神経症状（記憶力・計算力・集中力の低下・不眠・イライラ・不安感・頭痛・めまい・耳鳴り・浮遊感・しびれ）などが認められます。また、女性ホルモンの低下により生活習慣病を発症しやすくなります。循環器系の変化としては女性ホルモンの低下により、血管の拡張能が低下し高血圧が徐々に出現します。内分泌系の変化としては女性ホルモンの低下により、インスリン抵抗性を高め高血糖を生じやすくなります。また、女性ホルモンの低下によりLDLコレステロール（悪玉コレステロール）の肝臓へ

の取り込みが減少し、脂質異常を生じやすくなります。泌尿・生殖器系の変化としては頻尿・腹圧性尿失禁などの排尿障害を生じます。筋・骨格系の変化では筋力低下による尿失禁・肩こり・腰痛・骨密度の低下による骨粗しょう症を認めます。皮膚の変化としては乾燥しやすくなり弾力や柔軟性の喪失がみられます。以上の様な症状があり、日常生活に支障をきたす場合更年期障害といえます。器質的疾患を除外できたら、更年期の症状として加療します。ホルモン補充療法はのぼせ・ほてりなどに有効です。その他の症状には漢方治療が適していることが多いです。さらに、生活習慣を改善し、禁煙・運動・適切な栄養摂取が必要です。

### ● 腹痛・便秘・下痢・冷え・むくみ

女性の腹痛は月経に関連することも多く、月経前には女性ホルモンの影響で体がむくみやすく、便秘になりやすいです。また、冷えは西洋医学では治療の対象ではありませんが、体のバランスが崩れている証拠です。女性特有の症状には漢方治療の持ち駒があります。しかし、漢方薬を服用するだけが治療ではありません。生活習慣の改善が必須です。

## おわりに

お示した症状はほんの一部にすぎません。お悩みやご心配事があり、どの科を受診していいかわからない時、ご相談にいらしてください。一緒に改善策を考えましょう。初診の診療時間は比較的ゆとりをもって設定しておりますが、効率よく受診していただくために、症状のはじまりから現在までの経過を診察前にまとめておかれることをおすすめいたします。今まで受診された医療機関での検査結果や治療・内服薬の内容などもお持ちください。

分院内科総合診療科  
（女性内科（漢方内科））  
医員 若林 真理子



### 【外来診療案内】

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
午前	-	-	-	-	-
午後	-	-	-	-	若林

- ・ 来院の際は、前もって休診の有無を電話で外来に確認の上ご来院下さい。

## 超高齢社会がやってくる

日本の人口構成は、既に「高齢化社会」を通り越して、今や明らかに「高齢社会」であり、間もなく「超高齢社会」を迎えようとしています。今日の高齢者の特徴として、医療環境や医療技術の進歩により、単に長命であるのみならず、一昔前の高齢者と比べて明らかに身体年齢は若い、すなわち若々しい方が増えているということがあります。しかしながら、一旦重い病を得た後も、医療の進歩により生命予後が長くなり、寝たきりや身体的に不自由な状態で長生きを余儀なくされるということも稀ではありません。周囲の同世代の方達が若々しく活動しておられるのを見ながら、不自由な状態で過ごさねばならないというのは精神的にもつらいものでしょう。このような状況から、多くの高齢者あるいは高齢者予備軍の人々は、身体に不自由なく長生きできることを願っておられることと思います。

## 血管と骨の老化がもたらすもの

さて、身体が不自由になる原因としては、脳梗塞に代表される脳血管障害と骨粗鬆症を原因とする骨折が代表的なものです。骨粗鬆症は骨の老化であり、脳梗塞の原因となる動脈硬化は血管の老化であるといえます。従って、骨折と脳梗塞を予防するためには、骨と動脈の老化をペースダウンさせるような対策を立てる必要があります。そのために個々人が日常の生活の中ですべきことは沢山ありますが、今日では医療としてもこれらの問題に対抗する方策が確立されつつあります。また、最近の研究から、骨と血管の老化には共通する原因が潜んでいることも明らかになってきており、骨粗鬆症のひどい人は動脈硬化も進んでいる可能性が高いこと、また逆に動脈硬化が著しいといわれている人は骨粗鬆症も進んでいることが多いことがわかっていま

## 内分泌代謝科部長

竹内 靖博 昭和57年卒



### <専門分野>

内分泌疾患全般、骨・カルシウム代謝異常症（副甲状腺疾患、骨粗鬆症、骨軟化症／クル病 など）

### <資格・所属学会等>

日本内分泌学会専門医・指導医・評議員  
日本内科学会認定内科医・教育責任者・評議員  
日本骨粗鬆症学会評議員、日本骨代謝学会評議員  
日本老年医学会教育責任者・評議員  
日本医師会認定産業医  
日本甲状腺学会

す。このことは裏返せば、両方に共通した治療法がある可能性を示しており、私達はこのような可能性を求めて研究を進めています。

## 骨の老化とは

骨の老化は、2つの機序により進行します。ひとつ目は性腺機能の低下です。これは、女性では更年期というはっきりとした徴候があり、卵巣機能が衰えて更年期を迎えると、毎日溶ける骨の量が増えて、骨はいっきにもろくなっていきます。男性では、はっきりと何時から性腺機能が衰えるのか明確ではありませんし、その時期にも個人差があり、50歳代から衰える人もいれば70歳を過ぎても大丈夫な人もいます。しかしながら、一般的には男性の性腺機能も年齢とともに衰えていきますから、それにつれて骨の量も減少していくことは女性と変わりありません。ふたつ目の機序は、加齢に伴って骨を造る細胞が減っていくということです。これは全ての臓器に共通で、年をとると組織の再生能力は総じて低下していくものですが、骨についても例外ではないということです。このようにして、年をとると性腺機能の低下により溶ける骨の量が増える一方で、骨を造る力は低下していくために、骨の量が次第に減少



し、脆くなり、折れやすい骨になっていくのです。

性腺機能の低下自体は、女性ホルモンや男性ホルモンを補充することで改善することが可能ですが、これはある意味で自然に反することになります。自然に年をとって性腺機能が低下したところに、無理矢理ホルモンの補充を行うと、女性では乳癌、男性では前立腺癌の危険が増えることとなります。しかし一方で、ホルモンの補充は原因を取り除く一番確実な方法でもありますから、例えば40歳代で閉経を迎えてしまった女性には、大変良い治療法であるといえます。従って、ホルモン補充療法が適切か否かは、個々人が担当医と十分に相談して判断する必要があるでしょう。

現在は骨量の減少を防ぐために、骨が溶けることを防ぐお薬が広く用いられています。実際の患者さんを対象にした臨床研究から、骨の量を増やすのみでなく、骨折の発症を半分程度に抑制することが確認されているお薬は多数開発されており、骨粗鬆症と診断された場合にはこのような治療を受けることが勧められています。さらに、この様なお薬を使っても骨折してしまうような重症の骨粗鬆症に対しては、骨を積極的に造ることを助けるお薬が用いられます。しかしながら、骨粗鬆症と診断されるか否かにかかわらず、また骨粗鬆症のお薬を使うか否かにかかわらず、カルシウムとビタミンDを十分に摂り、毎日適度に運動することは、骨の健康を維持するために欠かせないことですから、このような習慣を身に付けることは大切なことといえます。

## 血管の老化と骨の老化は関連している

血管の老化は、動脈硬化という形で現れます。動脈硬化の原因は様々ですが、高血圧・糖尿病・脂質異常症（高脂血症）・肥満・喫煙などが代表的な原因です。これらは、肥満を除くと骨の健康にも良くないとされるものばかりです。動脈の太い部分の

硬化症では血管壁にカルシウムが沈着し石灰化することが多いのですが、この動脈石灰化の程度と骨粗鬆症の程度とは相関することが知られています。この現象は、骨から流れ出したカルシウムが動脈壁に沈着すると考えればわかりやすいと思います。残念ながら、動脈硬化自体を治療する手段はありませんが、高血圧・糖尿病・脂質異常症などを治療することにより、動脈硬化を改善することができます。興味深いことに、降圧薬の一部（β遮断薬や降圧利尿薬）や脂質異常症のお薬であるスタチンには、骨粗鬆症による骨折を減らす効果があることが報告されています。また、糖尿病を治療することにより骨の状態も改善される可能性があることが明らかにされています。このように動脈硬化のための治療の多くは骨粗鬆症のためにも良い効果が得られる可能性があると考えられています。一方で、骨粗鬆症治療薬のひとつであるビスフォスフォネートというお薬には動脈の石灰化を改善する可能性があると考えられており、実際の患者さんにおける有効性の検討を含めて今後の研究が期待されている領域です。

## 老化に負けない体作りを

以上に述べた内容は、決して若返りの方法やお薬で無理をして若作りをするものではなく、あくまでも病気の治療に基づいて、老化に対抗するための手助けをする医療に関するものです。この点はくれぐれも誤解の無いようお願い致します。若返りは自然に反することですが、人間の寿命が80年を超えて延びつつあり、しかも少子高齢化が進んでいく現状では、元気な高齢者が増えることを手助けすることが、社会的にも不可欠な課題となっていることは皆さんにも実感されるところでしょう。そのために、骨と血管のアンチエイジングを目指して、今の医療でできることについて、骨と血管に焦点をあててまとめてみました。皆様の健康増進のご参考にして頂ければ幸いです。

〈院長あいさつ〉

2010年6月2日、西新井駅西口徒歩1分の地に、耳鼻咽喉科、アレルギー科、小児科、気管食道科のクリニックを開院致しました。地域住民の皆様方の健康増進に貢献できますことを願っております。

耳鼻咽喉科の診療担当領域は非常に広範囲で、頭蓋底（眼の辺り）から下、鎖骨より上の領域（頭頸部）を担当します。担当疾患も多岐に渡り、頭頸部領域の急性および慢性炎症、良性腫瘍、悪性腫瘍から、聴覚（耳）、嗅覚（鼻）、平衡覚（三半器官）、味覚（口腔）などのさまざまな感覚器の機能不全、顔面神経麻痺や誤嚥（嚥下機能低下）など頭頸部領域の運動障害の診断・治療などを行っています。小児や成人の、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎（蓄膿症）、中耳炎の方々はもちろん、咳や痰など気道感染症やアレルギー性疾患、原因不明の頭頸部領域の痛みや腫脹、長く続く咳、感覚器（耳、鼻、咽喉）の機能不全などの不快な症状でお悩みの方は、お気軽に私どものクリニックにご相談頂ければと存じます。

喉頭癌や咽頭癌、舌癌などの頭頸部癌が社会の高齢化に伴い増加しております。とくに頭頸部癌は、早期発見が非常に重要ですので、気になる方はどうぞお越しください。また、40歳代以上の方は一年に一度の喉頭がん、咽頭がん検診をお勧めいたします。

院長 藤城 芳徳 (ふじしろ よしのり)

● 略歴

1998年 国立千葉大学医学部医学科卒業  
 1998年 国立東京大学医学部耳鼻咽喉科学  
 教室入局



国立東京大学医学部附属病院研修医  
 東京都立府中病院耳鼻咽喉科医師（東京都医員）  
 日本赤十字社 日赤医療センター耳鼻咽喉科医師  
 NTT東日本関東病院耳鼻咽喉科医師  
 東京大学医学部文部科学教官助教  
 （耳鼻咽喉科・聴覚音声外科）  
 群馬県立がんセンター頭頸科・耳鼻咽喉科 科長、医長  
 国立国際医療センター厚生労働技官  
 （耳鼻咽喉科・気管食道科）

2010年 にしあらい耳鼻咽喉科開院

● 資格・所属学会等

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医・補聴器相談医  
 身体障害者福祉法指定医



〈手術用顕微鏡・頭部エコー〉



〈聴力検査機器〉



〈受付〉



〈待合室〉

※ キッズコーナーもございますので、お子様連れの方もご安心ください。

【診療科目】

耳鼻咽喉科、アレルギー科、小児科、  
 気管食道・耳鼻咽喉科

【診療日・診療時間】

時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00～13:00	○	○	○	-	○	◎	-
15:00～19:00	○	○	○	-	○	◎	-

◎ 土曜日の診療時間

10:00～14:00、15:00～17:00

● 休診日／木曜日、日曜日、祝祭日

【可能な検査】

感染症迅速検査（インフルエンザ、溶連菌感染症、アデノウイルス感染症）、アレルギー検査、鼻咽腔・喉頭ファイバースコープ）、中耳内視鏡、純音・語音聴力検査、頭頸部レントゲン検査、頸部超音波検査 等



にしあらい耳鼻咽喉科

■ 住所 東京都足立区西新井栄町1-17-1  
 パサージュ3F  
 ■ 電話 03-3880-0333  
 ■ URL <http://www.nishiarai-jibika.jp>  
 ■ 交通 東武伊勢崎線「西新井」駅 西口徒歩1分



# 源氏物語礼賛—④二千円札

元精神科部長 栗原 雅直

最近ほとんど二千円札にお目にかかれない。紛らわしいのと使い勝手が悪いので、日銀の金庫にオクラになっているのだろう。もっとも私はこのお札にあまり賛成ではない。

表面は「守礼門」である。2000年に行われた沖縄サミットに合わせた趣旨は結構だが、首里城全域がユネスコの世界文化遺産に登録されているのに、この門だけは外されている。本来あった門が沖縄戦で跡形もなく破壊されたからである（県指定の文化財）。だが、沖縄というだけで新しく作った門をお札にしようという神経が分からない。沖縄の大激戦は、この島を犠牲にして少しでも生き延びようというヤマトンチュウのジコ中ではなかったか。沖縄にとって、われわれが加害者でもあったことが、なぜ意識から抜け落ちているのだろう。都合のよいことだけを利用しようとしている。

裏面は源氏物語の「鈴虫」の場面。十五夜の美しい月明かりのもと、入道の宮の屋敷で光源氏が琴を弾いていると、螢兵部卿宮（彼の異母弟）や夕霧（嫡男）など数人の殿上人が訪れ、鈴虫の宴が催された。そこに冷泉院から月見のお招きがあったので、一同そろって院の御所に参上した。これは国宝絵巻（五島美術館蔵）でももっとも美しい絵で、その上に物語を抜書きした詞書が重ね書きされている。

画面の左部で冷泉院と光源氏とが対面している。藤壺の女御から生まれた帝は、自分が光源氏の異母弟ではなくて、実は息子であったことを僧都（僧正の下で僧尼を監督する）から知らされ（薄曇）、実父を臣下に持つことは人の道に反すると、幾度も譲位を求めていた。結局のちに退位して仏門に入った。

この場面の素晴らしさは、鈴虫を聞く秋の風情に、漏れてはならぬ親子関係の複雑な心理が重畳されているためだろう。なおお札の外の右側では、夕霧が亡き友柏木を偲びつつ、譲られた横笛を吹いている。光源氏の左に冷泉院、右に夕霧という異なる父子の関係が対置されている。

こういったデリケートなムードは、日本文化を表現する風物詩であると言えよう。だが、紙幣は国の公式なメッセージという責任性が忘れられている。耽美主義だけで、こういった情景を紙幣にすることが許容されるものだろうか。アメリカの1ドル札は、建国の父である初代大

統領ジョージ・ワシントンだが、桜の木を切り倒したことを父親に告白した逸話が想起される。真相はどうあれ、これは「正直こそ美德」というアメリカのメッセージと思うのである。

まさか日本の二千円札が「不義密通」をすすめているとは、誰しも思うまい。しかし紙幣に不適切という専門家たちの結論が、無視されたいのである。いつも歴史には学ばず、審議会などで意見を聞きはするが、結局は自分の都合で決めてしまう当局なのである。幸か不幸かこのお札があまり流通しなかったので、私は胸をなでおろしている。

ついでに言わせてもらえば、五千円札の樋口一葉にもあまり感心できない。もちろん彼女の文才は高く評価するけれど、何せ彼女は肺病病みの、赤貧洗うがごときマルビ女性だった。それをお札にしたためか、日本経済もひどい状態に陥ってしまった。お札だって縁起物である。例えばH女史のように、息子に何億円もの政治資金を提供して平然たるマルキン女をお札にしたら、日本経済ももう少しマシだったか、などと思うのである。

ところで私は、この不幸なる五千円札を集めている。診療所の受付の女性が、オツリに使いたけれど足りなくて困ると嘆いていたからだ。スペードのクイーンのような淋しい女性をなんで集めるのかというと、例えばトランプ遊びの2・10・ジャックでは、スペードを全部集めるとマイナスがプラスに逆転する。そんなことが秘かな理由なのである。私のマイナス金運もそろそろ大逆転を期待して、一葉女史に肩入れしてみたけれど、まだ金運急上昇の兆しはなさそうである。



〈二千円札〉



〈鈴虫 二〉  
（五島美術館蔵）

【出典：三田村雅子 芸術新潮編集部 編  
『源氏物語 天皇になれなかった皇子のものがたり』  
【新潮社】】

## 虎の門病院からのご案内

初診時より効果的な診察ができますよう、可能でしたら他病院からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちにならない場合は初診時選定療養費(本院5,250円、分院3,150円)をお支払いいただきます。

### 本院診療受付時間(初診)

内科	8:30 - 10:30
小児科	8:30 - 11:00
皮膚科	8:30 - 10:30
外科	8:30 - 11:00
脳神経外科	月～金 8:30 - 11:00 金 13:00 - 14:30 (紹介状があり予約された方は予約時間に 合わせてお越しください)
麻酔科	月・木 13:00 - 14:30
整形外科	8:30 - 10:30 (紹介状があり予約された方は予約時間に 合わせてお越しください)
形成外科	水以外 8:30 - 10:30
産婦人科	8:30 - 10:30 (予約された方は予約時間に合わせて お越しください)
泌尿器科	8:30 - 10:30
眼科	8:30 - 10:30
耳鼻咽喉科	8:30 - 10:30
歯科	8:30 - 10:30

- \* 予約直通電話番号  
 ・ 脳神経外科・整形外科:03-3583-1406(受付時間14:30-17:00)  
 ・ 産婦人科:03-3560-7751(受付時間14:30-16:30)

### 虎の門病院 本院

〒105-8470 東京都港区虎ノ門2-2-2  
 TEL 03-3588-1111 (代)

地下鉄銀座線虎ノ門駅3番出口 徒歩5分  
**車でご来院の方: 有料駐車場があります**  
 (大型車(全高1.55m以上)は除きます)  
 (30分:300円 患者さん割引あります)

### 虎の門病院 分院

〒213-8587 川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1  
 TEL 044-877-5111 (代)

田園都市線梶ヶ谷駅より徒歩15分  
 宮崎台駅よりバス5分(1時間に3本)

### さいたま診療所

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2番1  
 さいたま新都心合同庁舎2号館1階  
 TEL 048-601-1347

JRさいたま新都心駅 徒歩5分  
 JR埼京線 北与野駅 徒歩8分  
 (診療科) 内科・精神科・歯科  
 平日 午前9:00~11:30 午後1:30~4:00



全面禁煙  
 当院は敷地内全面禁煙です。ご協力お願いいたします。

ホームページアドレス <http://www.toranomon.gr.jp>

### 分院診療受付時間(初診)

	午前 8:30-10:30	午後 1:00-3:30
内科総合診療科 (一般内科)	○	○
肝臓内科	週による	週による
血液内科	火・木	月
女性内科(漢方内科)	×	金
糖尿病・代謝科	○	月
呼吸器科	火・木	火(第1除く)
消化器内科	木	火
神経内科	月・火・水・金	×
循環器センター	×	水(第1)
腎センター(内科)	月・火・水・木	月・火・金
腎センター(外科)	月・金	×
精神科	×	月・火・木・金
小児科	×	月・水・金
皮膚科	×	火(第2・4) ※午後1時~2時
外科	火・水・金	金
整形外科	○ ※月は午前10時~	×
泌尿器科	×	木
歯科	○	○

予告なく変更することがありますので、診療前に電話等で各科の診療の有無を確認の上、ご来院ください。

### 人間ドック・脳ドックに関するお問い合わせ

虎の門病院付属

健康管理センター・画像診断センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-3 虎ノ門清和ビル

TEL 03-3560-7777 (平日11:00~16:30)

ホームページ <http://www.toranomon-dock.jp/>

### 当院でセカンドオピニオンの提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんで、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医(部長・医長クラス)による特別相談をお受けしております。(完全予約制)

(料金) 30分:21,000円(延長15分毎:10,500円追加)

本院医療連携部 03-3588-1111 内線4106

分院医療連携部 044-877-5111 内線5141